

日本小児救急医学会

理事長 市川 光太郎 様

岩手県立病院等事業管理者

岩手県医療局長 八重樫 幸治



東日本大震災小児医療復興新生事務局への支援及び応援医師の派遣の継続について（依頼）

平素より、本県地域医療に対しまして、格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災津波から間もなく5年の節目を迎えようとしておりますが、被災地はまだまだ復興の途上にあり、今もなお、多くの方々が応急仮設住宅等での不自由な生活を余儀なくされるなど、依然として厳しい状況におかれています。

こうした中、貴学会におかれましては、発災直後から現在に至るまで、本事業の取組に対し、多大なご支援、ご協力を賜るとともに、本県県立病院をはじめとする被災3県の各構成施設への多数の応援医師の派遣にご尽力いただいているところであり、深く感謝申し上げる次第であります。

本県においては、これまでの間、被災した病院の再建を進める一方、貴学会をはじめ全国の応援医師の方々からの温かいご支援をいただきながら、被災地等における小児医療の確保・充実等に向け鋭意取組を進めてまいりました。

しかしながら、先の大震災津波による影響はあまりに甚大であり、震災前から既に本県地域医療の課題として影を落としていた医師不足問題、とりわけ小児科医師の不足は更に深刻さを増し、沿岸部の直接的に被災した地域はもとより県内各地にまで及んでいる状況にあり、地域における小児医療の確保が喫緊の課題となっていることから、今後におきましても、引き続き貴学会及び全国の応援医師のご支援をいただきながら、県立病院のネットワークを活用して、内陸部と沿岸部の病院が水平的に支援する体制を維持していく必要があると考えております。

つきましては、未来ある子どもたちの健やかな成長を支えることができる地域社会の構築につなげるとともに、被災地等で暮らす将来の地域の担い手である子どもたちとそれを見守る方々が安心して安定した生活を早く取り戻せるよう、今後とも持続可能な医療提供体制の確保に取り組んで参りますので、貴学会による本事務局に対するご支援及び全国からの応援医師の派遣継続について、特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1 お願いしたい事項

東日本大震災小児医療復興新生事務局への支援及び応援医師の派遣の継続

2 応援医師の派遣をお願いする施設

岩手県立大船渡病院（岩手県大船渡市大船渡町字山馬越 10-1 電話 0192-26-1111）

岩手県立高田病院（岩手県陸前高田市米崎町字野沢 34-1 電話 0192-54-3221）

岩手県立胆沢病院（岩手県奥州市水沢区字龍ヶ馬場 61 電話 0197-24-4121）

岩手県立磐井病院（岩手県一関市狐禅寺字大平 17 電話 0191-23-3452）

岩手県立遠野病院（岩手県遠野市松崎町白岩 14-74 電話 0198-62-2222）